

県育成会・新会長に田中さん！

高橋会長・柴田副会長が任期途中で辞任

6月18日県社会福祉会館展示ホールにおいて令和2年度公益社団法人秋田県手をつなぐ育成会定時会員総会が開催されました。

折からのコロナウイルス感染予防のため、全員マスクを着用し、三密を避けるためにイベント等を行う広い展示ホールに3人掛け長テーブルに一人掛けとし、天井も高く換気も良好な会場が用意されたので出席者は不安なく審議に集中できました。

総会は兎澤副会長を議長に選出し、定款に定める定足数を満たして議事が進められました。第1号議案の令和元年度事業報告は提案どおり承認され、第2・3号議案の決算報告及び監査報告は単年度で135万円の赤字となった理由について高橋会長から補足説明がありました。数名の会員から「財政基盤確立のため、事業計画の見直し、経費の節約、事務局体制の見直しなどを喫緊の課題として取り組むよう求める」発言があり、事務局から「意見を真摯に受け止め、今後十分に留意して業務に当る」と回答。両議案は原案通り承認・可決されました。

第4号議案として役員（理事）の選任（解任）について提案されました。高橋会長と柴田副会長から一身上の都合や健康上の理由により辞任届が提出されていることを報告。会員からは特に質疑がなく、満場一致で辞任を承認して総会は閉会しました。

引き続き同会場で、14名の理事と2人の監事が出席して今年度2回目の理事会が開催されました。議長には兎澤理事が選任され、まず、コロナ禍で中止・延期が決定した事業にかかる経費を減額する今年度の補正予算（案）が原案通り承認されました。

続いて、総会において解任された高橋理事と柴田理事が重任する代表理事（会長）と業務執行理事（副会長）の解職を承認し、新代表理事（会長）業務執行理事（副会長）を選定しました。結果、新会長に田中勉さん（秋田市・県央地区副会長）県南地区の副会長に田口ひとみさん（仙北市角館町）、空席となった県央地区副会長に小林顕さん（秋田市）が選定されました。

選任された新役員

<任期は令和3年6月まで>

役職名	氏名	役職名	氏名
代表理事（会長）	田中 勉（新）	業務執行理事（副会長）	田口ひとみ（新・県南）
業務執行理事（副会長）	小林 顕（新・県央）	業務執行理事（副会長）	兎澤 正文（留・県北）

なお、高橋、柴田前理事が所属する地元団体からはまだ補充（後任）理事候補の推薦がないため理事数は17名となるが、定款の定める理事定数を満たしていることも報告。承認されました。

<公益社団法人とは・・・>

- * 秋田県手をつなぐ育成会は、国の方針に基づき平成23年から法人の名称変更（法人移行）認定申請の準備を進め、平成25年4月1日に公益社団法人として法務局に登録された。
- * 公益社団法人の公益認定の会計要件
 - ① 収支相償：公益目的事業の収支差額がゼロ又はマイナスであること
 - ② 公益目的事業費率：公益目的の事業費が全体の費用の50%以上であること
 - ③ 遊休財産保有制限：遊休財産が1年分の公益目的事業費を下回ること
- * 上記①の要件により、収支決算を黒字にできないこととなっているため、県育成会は毎年度30～50万円のマイナス決算をしてきたので法人の基本財産が毎年減少している。従って、このまま赤字決算を続けていくと現在360万円しかない基本財産が数年で消滅し法人の解散を危惧される。
事務局は、法人移行時の基本財産額から推定し10年くらいはマイナスでも大丈夫であり、この間に国が法人制度の見直しをするのではないかと見直しが無い場合は、基本財産残額等を勘案して再度名称変更（別法人移行）をする方針であった。
- * こうしたことから昨年度、単年度で135万円の赤字となったことが大きな問題となっている。

～コロナウイルス感染予防のため、延期・中止 となっている事業計画～

- ☆ 第7回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会（愛媛大会）・・・令和2年10月3日、4日
- ★ 第60回手をつなぐ育成会東北ブロック大会（青森市）・・・令和2年9月12日、13日
- ☆ 第62回手をつなぐ育成会秋田県大会（南秋湯上男鹿大会）・・・令和2年8月30日
・併催する「秋田県ともだちの会」も中止する
- ☆ 秋田県障害者スポーツ大会（共催事業）・・・・・・・・・・・・令和2年9月
- ☆ 第8回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会（秋田大会）・・・令和3年10月16日、17日
・併催する予定の第61回東北ブロック大会、第63回秋田県大会も含む
準備が間に合わないため、高橋前会長名の公文書で中止を要請している。

《 ☆=中止 ★=延期 》

今年度の会費未納の方は

最寄りの郵便局から納付されるようよろしくお願いいたします！

